

## 四国8の字ネットワークのミッシングリンクの早期解消

政策提言先 国土交通省

### 政策提言の要旨

近い将来、確実に大規模地震に襲われる本県は、その対策を最重要課題として取り組んでいます。高規格道路網「四国8の字ネットワーク」の早期整備は、その柱の一つであり、南海トラフ地震への備えとして重要な基盤となるものです。また、地域の自立と発展のためには、立ち遅れた交通アクセスの改善による地域経済の活性化が不可欠であり、「四国8の字ネットワーク」の整備はその根幹を担うものです。災害時の生命線となり、地域経済の活性化の要となる高規格道路は、国の責任において確実に整備するとともに、そのために必要な予算を確保し重点投資することが必要です。

○地域の経済活動を支え、南海トラフ地震時の命の道となる四国8の字ネットワークの整備は急務

1. 計画段階評価実施中、実施予定区間の早期完了！
2. 計画段階評価完了区間の早期事業化！
3. 事業中区間の早期完成！

### 【政策提言の具体的内容】

**地域の経済活動を支え、南海トラフ地震時の命の道となる四国8の字ネットワークの整備は急務**

南海トラフ地震時の緊急輸送道路となり、また、地域の経済活動を支える高規格道路については、国の責任において確実に整備すべきだと考えます。

#### 1. 計画段階評価実施中、実施予定区間の早期完了！

最後に残る空白区間を埋めることで、四国8の字ネットワークの効果を最大限発揮することが可能となります。

- 四国横断自動車道 宿毛～内海間
- 阿南安芸自動車道 奈半利～安芸間、野根～安倉間（直轄代行）

#### 2. 計画段階評価完了区間の早期事業化！

地震発生時の迅速な救急活動や物資搬送を行うためには、高規格道路の早急な整備が必要です。

- 四国横断自動車道 佐賀～四万十間
- 阿南安芸自動車道 牟岐～野根間

#### 3. 事業中区間の早期完成！

事業中区間を早期に供用開始することで、高規格道路がもつ様々な効果を早期に発現することが可能となります。

- 四国横断自動車道 窪川佐賀道路、片坂バイパス、中村宿毛道路（平田IC～宿毛IC間）
- 高知東部自動車道 高知南国道路（高知JCT～高知南IC間、なんこく南IC～高知龍馬空港IC間）  
南国安芸道路（高知龍馬空港IC～香南のいちIC間、芸西西～安芸西IC間）
- 阿南安芸自動車道 安芸道路

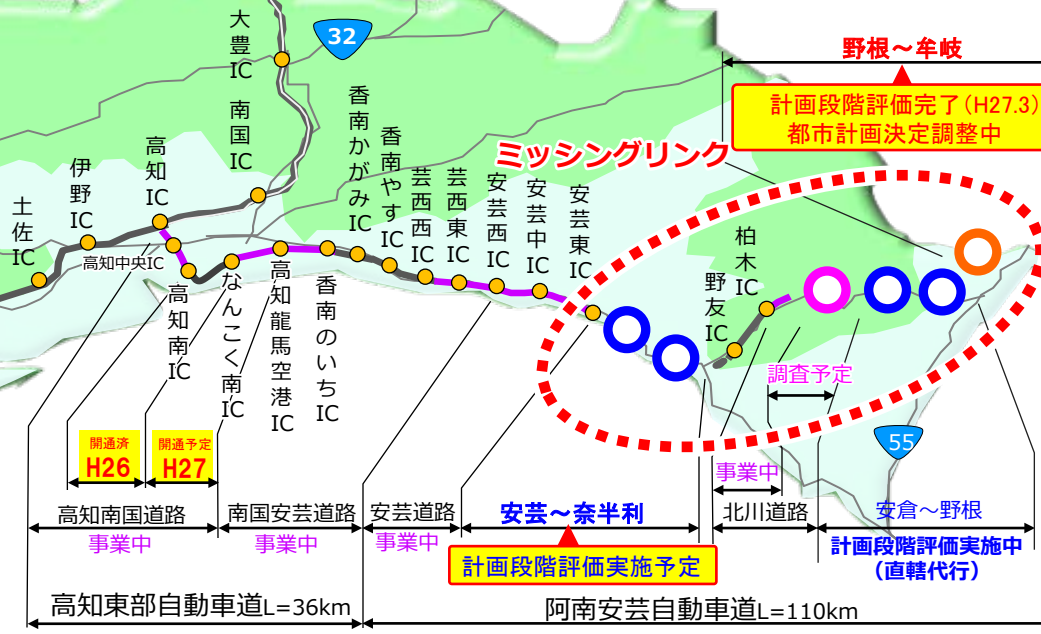
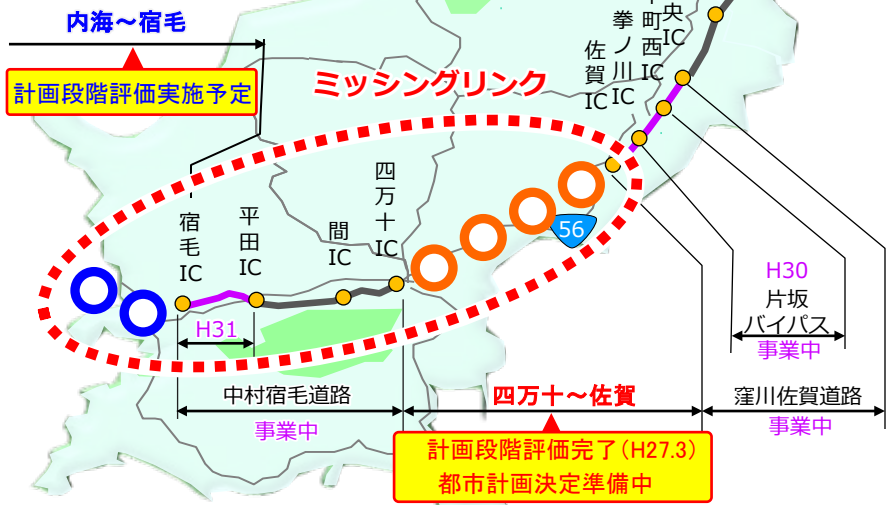
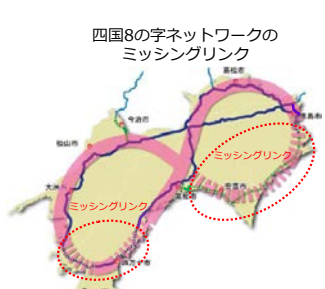
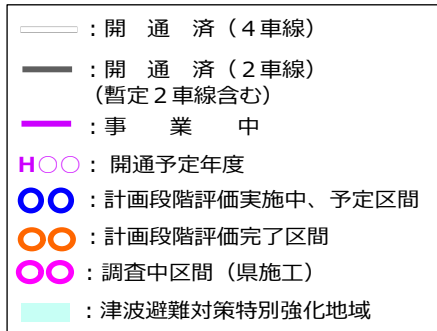
### 【政策提言の理由】

◇四国8の字ネットワークは、四国の骨格を形成する高規格幹線道路網ですが、県の東西にミッシングリンクが存在し、南海トラフ地震時には、津波や長期浸水等により道路が寸断され、集落や地域全体の孤立が想定されるとともに、救助活動や物資輸送に支障をきたすことが懸念されます。地震発生後の迅速かつ円滑な救援活動や物資搬送を行うため、また、立ち遅れた交通アクセスの改善による地域経済の活性化のためにも、高規格道路の整備を加速することが必要です。

【高知県担当課】土木部 道路課

## 高規格道路等の整備状況

(注) 事業中区間のICの名称は「仮称」

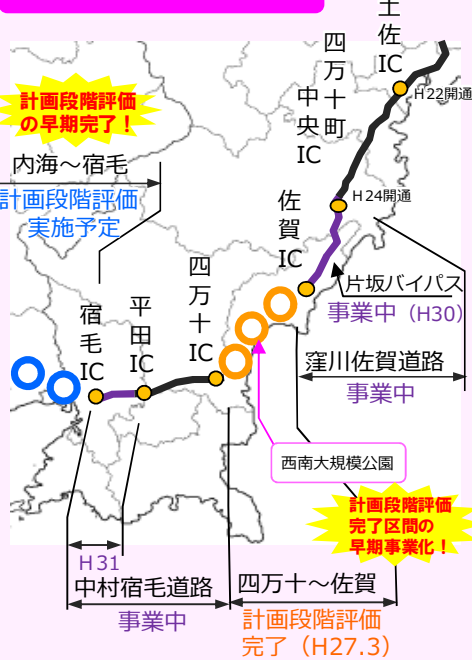


## 地域の経済活動を支え、南海トラフ地震時の命の道となる四国8の字ネットワークの整備は急務

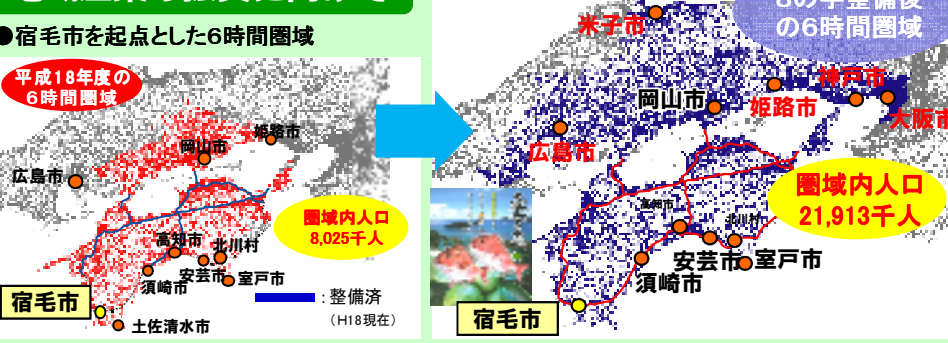
- 計画段階評価実施中、実施予定区間の早期完了！**
  - 四国横断自動車道 宿毛～内海
  - 阿南安芸自動車道 奈半利～安芸間 野根～安倉間
- 計画段階評価完了区間の早期事業化！**
  - 四国横断自動車道 佐賀～四万十間
  - 阿南安芸自動車道 牟岐～野根間
- 事業中区間の早期完成！**
  - 四国横断自動車道 窪川佐賀道路 片坂バイパス 中村宿毛道路
  - 高知東部自動車道 高知南国道路 南国安芸道路
  - 阿南安芸自動車道 安芸道路

# 高知県西部の四国8の字ネットワークの整備促進

## 高規格道路の整備状況



## 地域産業の振興に向けて



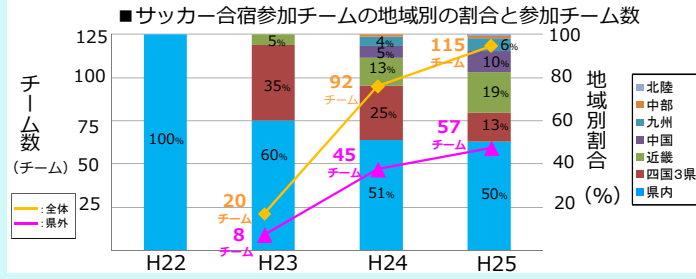
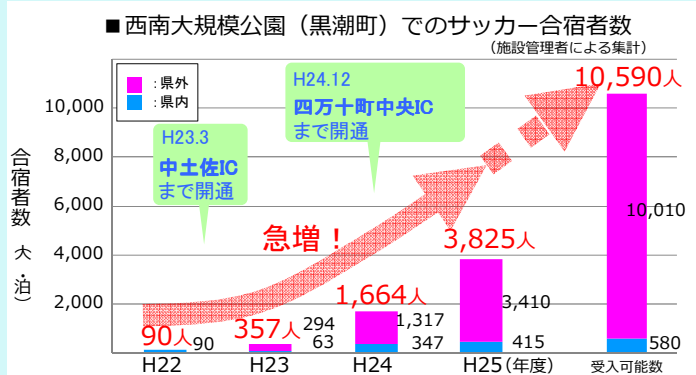
- 高知県は真鯛の養殖量全国第3位 (県内生産量の6割が宿毛産)
- 大阪府中央卸売市場での養殖真鯛のシェアが、29% (H23) から42% (H26) に上昇!

## 8の字の完成

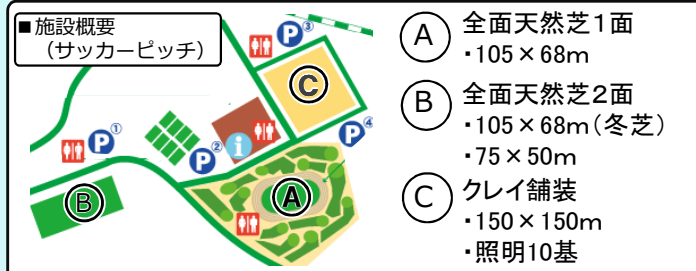
- 近畿地方の大消費地や山陰地方まで6時間圏域が拡大
- 6時間圏域人口が2.7倍の22百万人に増加 (14百万人の増)
- 輸送時間が短縮されれば、より新鮮な状態で届けることが可能

## 観光振興・交流人口の拡大に向けて

### ●スポーツ合宿者数が増加



- 合宿者数は4年間で約43倍!
- 県外 (近畿・中国地方) からの合宿が増加!
- 宿泊による経済効果はH23からH25で約9倍に (H25: 約34百万円)
- 合宿受入れ可能人数は、まだまだ十分な余裕有り



【地元旅行業関係者の声】  
・素晴らしい施設ですが、高速道路が繋がっていないことがセールスするうえでネックとなっています。

## 8の字の完成

- 移動時間の短縮により、合宿利用者数が増加
- 受入可能数に達した場合の宿泊等による経済効果は、H25の約3倍 (約1億円) を見込む

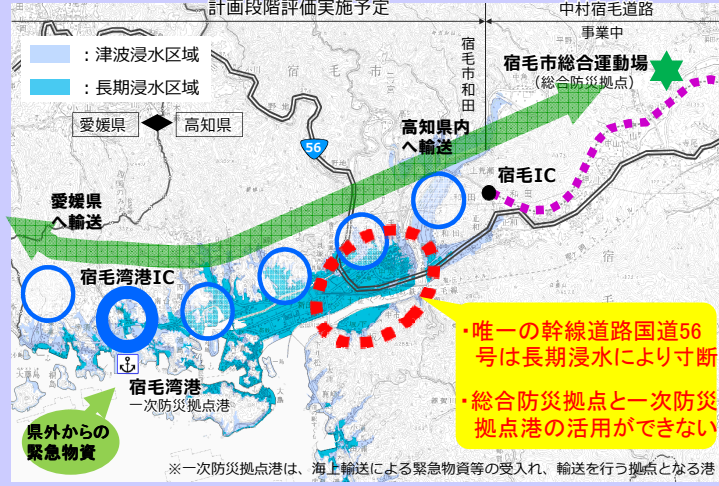
## 南海トラフ地震発生後の道路啓開日数の短縮に向けて



## 8の字の完成

- 代替路が確保され、現道の啓開に要する日数約3日が解消

## ●宿毛市の長期浸水を回避



## 8の字の完成

- 長期浸水の影響を受けないルートを確認 (長期浸水の排水・止水対策には約2ヵ月を要すると想定)
- 総合防災拠点と一次防災拠点港を活用した広域的な支援が可能

高規格道路の整備状況



地域産業の振興に向けて

●馬路村農協の輸送コスト削減と安定供給

- 特産品である柚子の加工品を製造・販売し、売上高は年間30億円以上
- 台風や大雨による幹線道路の通行止めにより出荷時等に大幅な迂回を強いられている。(H26年度 幹線道路の通行止時間:約106時間)

＜馬路村農協職員の声＞  
近年、原材料や燃料費が高騰しているため輸送費が負担になっている。高速道路ができて輸送費用を下げる事ができれば、大消費地での競合商品との価格設定に有利

8の字の完成 (+アクセス道路の整備)

●高知東部自動車道の整備効果

- 通行止めが解消され、**安定的な商品の出荷が可能**
- 輸送時間の短縮による**コストの削減**

＜運送業者の声＞  
徳島回りのルートを利用することで、輸送時間を短縮できる。台風や大雨の通行止めで、配達や集荷ができないということがなくなるので大変助かります。

●延伸にあわせ**工業団地の分譲を開始**

- 延伸を見越し、県と市が共同で**新たな工業団地を整備**
- 地域産業の活性化、雇用の拡大が見込まれる

観光振興・交流人口の拡大に向けて

●多くの観光資源を有する県東部地域

室戸市内の地質は世界的に貴重な資源として、平成23年9月、「世界ジオパーク」(国内7箇所)に認定

●観光振興に向けた地域の取組と課題

- 高規格道路の開通(香南のいち~芸西西間)を機に、ジオを中心とした**県東部の魅力を発信する博覧会「高知家・まるごと東部博」**を開催 (H27.4~12月)

室戸世界ジオパークセンター (H27.4月 オープン予定)

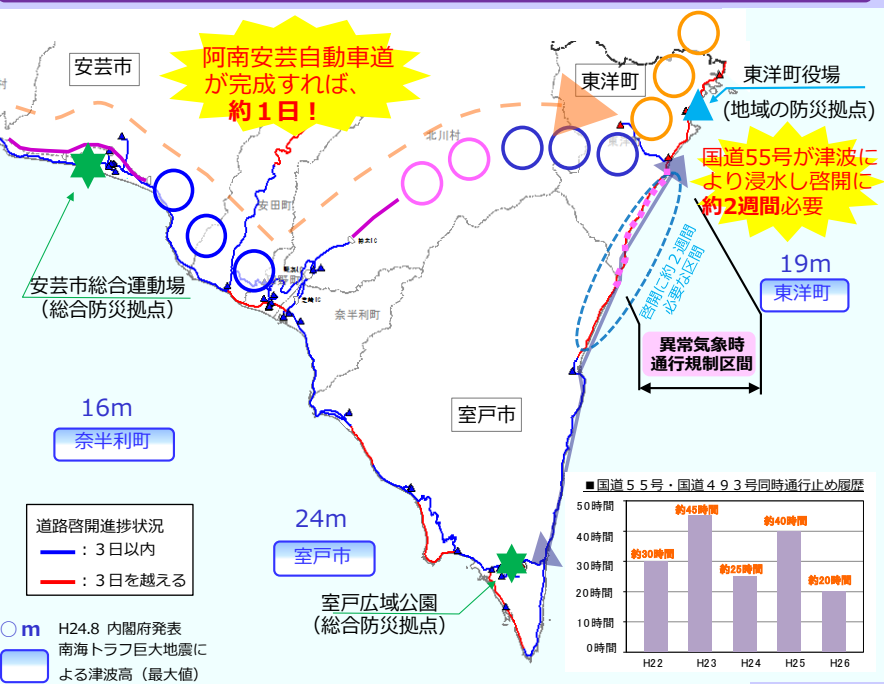
室戸ジオパーク

室戸ドルフィンセンター

野良時計(安芸市)

モネの庭(北川村)

南海トラフ地震発生後の道路啓開日数の短縮に向けて



東洋町までの道路啓開日数の短縮

- 唯一の幹線道路国道55号は、地震や津波により寸断
- 直近の総合防災拠点(室戸広域公園)と東洋町との間の道路啓開に約2週間を要する

8の字の完成

- 津波浸水の影響を受けないルートが確保され、総合防災拠点(安芸市総合運動場)までの啓開に要する日数を**約1日に短縮**

●大雨や越波の通行止めによる東洋町の孤立解消

- 国道55号、国道493号では、大雨や越波による**通行止めが毎年発生**

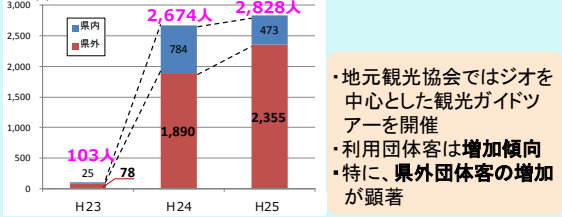
【大雨・越波による通行止め時間】  
(国道55号:57時間/年 H22~H26最大値)  
(国道493号:678時間/年 H22~H26最大値)

- 2つの路線が同時に通行止めになると、東洋町への交通が途絶  
(国道55号と国道493号の同時通行止め時間:約32時間/年(H22~H26平均))

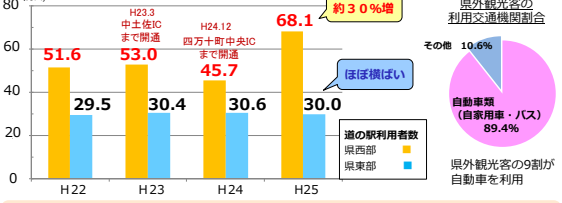
8の字の完成

- 異常気象時等で通行止めとなる区間を回避するルートを確保
- 東洋町への**災害に強く安全な物資輸送等のルート**を確保

室戸ジオガイドツアー利用団体客の推移



道の駅利用者の推移



- 高速道路開通後、県西部の道の駅は利用者数が増加。一方で県東部の道の駅利用者数は横ばいで推移し、伸び悩んでいる。
- 観光地までのアクセスに時間がかかるため、日帰り旅行の交流圏域は四国内に留まっている。

8の字の完成

- 魅力的な観光スポットを持つ東部地域への**観光客が増加**
- 日帰り可能な圏域が兵庫県まで広がり、**交流人口が拡大**